

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公開番号】特開2010-143915(P2010-143915A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-288204(P2009-288204)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/89 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/31

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 K 8/92

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/89

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/25

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月3日(2012.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸化剤の存在下でヒトのケラチン繊維を着色または明色化する方法であって、

以下の(a)、(b)、(c)：

(a)1種または複数の脂肪と1種または複数の界面活性剤とを含む無水化粧品組成物(A)、

(b)1種または複数の酸化剤を含む組成物(B)、

(c)1種または複数の無機塩基を含む組成物(C)

を前記繊維に施用する方法。

【請求項2】

組成物(C)が、1種もしくは複数の酸化染料及び/または1種もしくは複数の直接染料を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

脂肪が、 $C_6 \sim C_{16}$ 低級アルカン、動物性、植物性、鉱物性または合成由来の非シリコン油、脂肪アルコール、脂肪酸、脂肪酸及び/または脂肪アルコールのエステル、非シリ

コーンロウ、シリコーンまたはこれらの混合物から選択されることを特徴とする、請求項1または2のいずれか一項に記載の方法。

【請求項4】

脂肪が、 $C_6 \sim C_{16}$ 低級アルカン、鉱物性または合成由来の非シリコーン油、脂肪アルコール、脂肪酸及び/または脂肪アルコールのエステル、シリコーンまたはこれらの混合物から選択されることを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

脂肪が、流動パラフィン、ポリデセン、脂肪酸または脂肪アルコールの液体エステルまたはこれらの混合物から選択されることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

脂肪含有量が、組成物(A)の質量に対して、10から99質量%の間にあることを特徴とする、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

組成物(A)中に存在する界面活性剤が、非イオン性界面活性剤であることを特徴とする、請求項1から6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

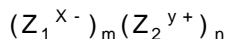
組成物(A)中に存在する界面活性剤が、モノ-またはポリアルコキシル化した、モノ-またはポリグリセロール化した非イオン性界面活性剤であることを特徴とする、請求項1から7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

界面活性剤の含有量が、無水組成物(A)の質量に対して、0.1～50質量%を占めることを特徴とする、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

無機塩基が、以下の構造：



(式中、

Z_2 は、元素周期表の1から13族の金属を意味し、

Z_1^{x-} は、 CO_3^{2-} 、 OH^- 、 HCO_3^{2-} 、 SiO_3^{2-} 、 HPO_4^{2-} 、 PO_4^{3-} 、 $B_4O_7^{2-}$ のイオンから選択されるアニオンを意味し、

xは、1、2または3を意味し、

yは、1、2、3または4を意味し、

m及びnは、互いに独立して、1、2、3または4を意味し、 $n \cdot y = m \cdot x$ である)

を有することを特徴とする、請求項1から9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項11】

無機塩基が、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、メタケイ酸ナトリウム、メタケイ酸カリウムから選択されることを特徴とする、請求項1から10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項12】

無機塩基が、アルカリ金属炭酸塩から選択されることを特徴とする、請求項1から11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項13】

無機塩基が、組成物(B)の質量に対して、0.01から30質量%を占めることを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項14】

組成物(A)、(B)及び(C)が、逐次的に、及び中間濯ぎを入れないで施用されることを特徴とする、請求項1から13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項15】

組成物(A)及び(C)の施用前の混合により得られる組成物、次いで酸化組成物(B)が、逐次的に、及び中間濯ぎを入れないで施用されることを特徴とする、請求項1から13のい

れか一項に記載の方法。

【請求項 16】

組成物(A)、(B)及び(C)を施用前に用時混合することにより得られる組成物が、施用されることを特徴とする、請求項1から13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 17】

組成物の量の質量比 $R1(A)+(C)/(B)$ 及び組成物の量の質量比 $R2(A)/(C)$ が、0.1から10の間で変動することを特徴とする、請求項1から16のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 18】

第1の区画が、請求項1及び3から9の一項に記載の無水組成物(A)を含有し、第2の区画が、1種または複数の酸化剤を含む組成物(B)を含有し、第3の区画が、1種または複数の無機塩基を含む、請求項1及び10から13の一項に記載の組成物(C)を含有する、いくつかの区画を含むキット。

【請求項 19】

組成物(C)が、1種もしくは複数の酸化染料及び/または1種もしくは複数の直接染料を含むことを特徴とする、請求項18に記載のキット。